

病院長への手紙に対する回答(R3.9.6回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
8908	<p>点滴の管理ミスは大きな医療過誤になる場合がある。インシデントの積み重ねが大きな医療過誤につながるのは周知の通り。安心してがん治療ができる「がんセンター」であって欲しい。</p>	<p>この度は、不安な思いをさせてしまい申し訳ありません。安心して治療を受けていただくために、細心の注意を払うよう、指導や教育を継続してまいります。お気付きの点がありましたら、お近くの看護師へお声掛けください。</p>
	<p>【入院病棟について】 副作用で手足のしびれがあるので、水で手を洗うことができない。お湯が出るか、消毒液を設置してほしい。 Wi-Fiを検討してもらいたい。 複数の病棟に入院したが、病棟により所々ルールが違った。ルールのメモみたいなものをもらえると戸惑わずに済むのではと思う。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 初めに、水栓は混合と水のみのもので、区別が出来るよう分かり易く表示します。 Wi-fiについては、以前からご要望をいただいております、昨年12月末から一部病棟に導入を開始しました。 来年度までには、全館へ導入される見込みですので、ご理解くださるようお願いいたします。 また、ご不便をおかけしてしまい申し訳ありません。病棟ルールについては、ご指摘のとおり病棟により運用が異なることがありますので、入院時オリエンテーションにて丁寧に説明するようにいたします。ご不明な点がありましたら、看護師へお声掛けください。</p>
	<p>【情報の収集や相談について】 正確な情報を得るために、がん全般や、自分に該当するがんについての推薦図書、WEBサイトをまとめたペーパーなどがあると助かると思う。 最新の腫瘍学会の書籍から質問しても、患者側を信じてもらえないところから会話が始まる。 また、院内に設置しているリーフレットが1カ所ないので不便に感じた。 院内にはどのような窓口があり、いつ、どのように利用すればいいのかが最初にペーパーなどが欲しい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 がんに関する情報の提供手法のほか、院内のリーフレット等の情報提供場所がより分かり易くなるよう、併せて検討してまいります。 また、患者さんの発話にしっかり傾聴し、思い込みを排して分かり易く伝えることは診療の基本と考えます。改めて医師には様々な機会を通じて指導してまいります。</p>
8909	<p>【科の連携について】 リハビリについて、特に重要視されていないように感じたが、予防期などに拡大したり、あるいは、ペーパーなどで情報発信してほしい。 緩和ケアセンターについて、主治医に相談したことがあるが、受診はまだ早いと言われた。積極的な連携をお願いしたい。 緩和ケアチームと精神腫瘍科について尋ねたがよく分からないと言われた。「こういう場合は〇〇を受診」といったFAQなどを用意してほしい。</p>	<p>リハビリについては、HPやパンフレット等による情報発信の拡充を検討してまいります。 なお、4月に新たに開設しました入退院支援センター事業の中で、患者さんのリハビリの要否をスクリーニングするシステムの導入を準備しています。 また、治療中でも緩和ケアの相談は可能です。患者さんの状況に応じて緩和ケア科や、精神腫瘍科をご案内しています。 患者さんの不安や疑問に適切に回答するよう、医師をはじめ患者さんに関わる全職員を改めて指導しました。 また、各診療科や診療関連部門の案内についても、より分かり易い記載や周知方法を検討してまいります。</p>
	<p>【主治医とのコミュニケーションについて】 定期診察では、「最近どう」という質問があるが、何を答えればいいのか迷う。主治医の方から「〇〇と言った症状はないか」という具体的な質問をしてもらえると答えやすい。 また、主治医とのコミュニケーション問題は心の大きな負担となる。診察後に定期的なアンケートを行い、早期問題発見、早期介入等を検討してほしい。医師に問題があるのであれば、原因の調査等の対応も検討してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は院内で共有し、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った診療や、円滑なコミュニケーションを築くことができるよう、様々な機会を通して医師を指導してまいります。 また、今回いただいた「病院長への手紙」のほか、患者満足度調査を実施し必要な対応を併せて行ってまいります。ご提案の定期的アンケートについても、必要性を検討してまいります。</p>
	<p>【その他】 PCR検査について、入院時、全患者のPCR検査を実施してほしい。 コロナワクチン接種について、主治医に相談したが、接種時期について一緒に検討してもらえなかった。 接種について、どのような方針なのか、HPやセンター内のお知らせなどで告知してもらえるとありがたい。 関係者へのお礼</p>	<p>入院時の全患者へのPCR検査の実施は、様々な要因から導入出来ていませんが、引き続き導入を検討してまいります。 また、ワクチン接種を受けるか否かは、考え方も様々あり各人で決めて頂くことが原則となります。 しかしながら、接種は接種場所に赴く必要もあり、受診中や入院を控えた患者さんの不安や疑問に真摯に応えるよう、改めて医師を指導しました。不明な点がありましたら、医師、看護師のほか相談支援センターにご相談ください。</p>

病院長への手紙に対する回答(R3.9.6回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
8910	名前と顔が覚えられず、話しかけるのに躊躇したので、廊下に顔写真と名前を掲示するとコミュニケーションが深まるのではと思う。 また、Wi-Fiの時間制限をなくしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 病室入口の患者さんのお名前の下に、受け持ち看護師の名前を掲示しています。なお、職員は職種毎に色分けした顔写真入りの名札を携行しております。 お気付きの点がありましたら、お近くの看護師へお声掛けください。 また、現在、一部病棟でWi-Fiを導入しており、来年度までには全館へ導入される見込みです。現在は多くの方に快適にご利用いただけるよう接続時間を制限していますが、今後の運用状況を確認しながら接続ルールを見直してまいります。
8911	看護師さんの対応が親切で良かったため、気持ちいい入院生活を送ることができた。半面、やや事務的な対応の看護師もいた。	この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 頂いたご意見は看護部で共有し、患者さんの思いに寄り添った対応をするよう指導してまいります。
8912	PSMA治療について、がんセンターでも国の承認を得るための策を採ってほしい。 また、ホウ素中性子補足療法(BNCT)は、有効な治療法がないがんに対しても有効と考えられている。高額な機械だからと消極的にならずに、是非導入してもらいたい。また、適用拡大により、前立腺がんも対象となるよう努力してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 PSMA治療については、ご承知のとおり、国内ではまだ使用が認められていない治療方法であり、今後の動向に注視してまいります。 また、ホウ素中性子補足療法(BNCT)が受けられる施設は、全国的にも限られた施設となりますが、適応となる患者さんは、当センターからの紹介で治療を受けることが出来ます。 ご提案のありました機器の導入については、設備費用や利用者数など総合的な検討が今後必要と考えます。
8913	グリーンファイルに入れる診察券、受付票等を何回も失くしてしまった。落ちる心配のない袋状のものに改善してほしい。	この度は、ご不便をおかけし申し訳ありません。 グリーンケースは、受付案内票や診察券を入れるためのポケットの目印となるシールを添付し、案内を添えてご利用いただいているところです。 なお、同様のご意見を多くいただいていることから、グリーンケースについて、引き続き改善を検討しております。
8914	病院にWi-Fiを設置してほしい。 若いがん患者の長期入院にとってWi-Fiは生活必需品。	この度は、ご不便をおかけし申し訳ありません。 Wi-fiについては、以前からご要望をいただいております。昨年12月末から一部病棟に導入を開始しました。 来年度までには、全館へ導入される見込みですので、ご理解くださるようお願いいたします。
8915	職員らしき人たちが乗馬クラブ側の病院を出たところで、喫煙しているのを見かける。マスクを外しているし、唾を吐いているのを見かけたこともある。	この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 当センターは敷地内禁煙を実施しています。健康増進法の主旨を踏まえ病院周辺においても、禁煙を徹底するよう職員を指導してまいります。 お気付きの点がありましたら、お近くのスタッフにお声掛けください。
8916	掃除がいい加減。 4階ソファ、テーブルに食べカスが多い。	この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 日中を通して利用者が多い4階ラウンジについて、清掃回数のほか目に付き難い箇所の清掃方法を見直してまいります。 お気付きの点がありましたら、お近くのスタッフにお声掛けください。
8917	看護師へのお礼	
8918	看護師へのお礼	
8919	看護師へのお礼	
8920	看護師へのお礼	
8921	関係者へのお礼	